

## 美濃市古城山環境保全モデル林で「火起こし・ご飯炊き体験・杉トンボ作り」が開催されました。

平成30年1月21日(日)に、美濃市吉川町にある古城山環境保全モデル林(ふれあいの森)で、古城山環境保全モデル林協議会主催による「大昔の火起こしと薪によるご飯炊き体験と杉トンボ作り」が開催されました。

火起こしはひもぎり式で火種を作り、麻紐をほぐした火口に息を吹きかけ火を起こしました。起こした火はご飯炊きに利用しました。

薪によるご飯炊きは事前に「はじめちよろちよろ 中ぱっぱ 赤子泣いてもふた取るな」の説明を受け、参加者は羽釜でそのレクチャーに基づき薪でご飯を炊きました。

竹トンボではなく杉トンボを作りました。羽根の箇所を竹ではなく杉を使いました。杉板を小刀で削り羽根にし、羽根の中心を錐で穴を開け、竹ひごをくっつけました。



ひもぎり式火起こしで火種を作ります。



火口に火種を移し息を吹きかけ火を起こします。



薪によるご飯炊き



炊き上がり



杉トンボをみんなで作成



杉トンボ

参加者から火起こしは「難しい。汗をかいた。」、ご飯炊きは「ガスでもやってみたい。少しの火加減で炊きあがりが違う。」などの感想をいただきました。